

クレジット:

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2017木下直之

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。



近くても遠い場所へ - 文化資源の発見

はじめに、私の2冊の本から

- ・ 拙著『近くても遠い場所』晶文社 2017 → ゴミ集積場の銅像
- ・ 拙著『股間若衆』新潮社 2012 → 赤羽駅前男性裸体彫刻

災害のあとに起こること

- ・ 災害のあとに求められること
 - 生存者の救出・救援、復旧・復興、死者の慰霊
- ・ 安政大地震 1852 とかわら版、鯰絵、回向院（もともとは明暦大火 1657 の死者供養で建立）
 - 小野秀雄コレクション（東京大学情報学環蔵）→ 「ニュースの誕生」展（東京大学総合研究博物館 1999）
 - エフェメラ ephemera（1枚ものの印刷物など）→ ephemeral ↔ monumental
- ・ 関東大震災 1923 と納骨堂、震災記念堂（現在は東京都慰霊堂）
- ・ 広島被爆 1945 と原爆供養塔 1946、広島平和祭 1947-（現在は広島平和記念式典）、広島平和記念公園 1955、広島平和記念資料館 1955、原爆ドーム（被爆前は広島県産業奨励館、市議会で永久保存決定 1966）、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 2002
 - 戦争遺跡、戦争遺産、負の遺産、ダークツーリズム
 - 原爆ドームの史跡指定 1995 と世界遺産登録 1996、広島平和記念資料館の重要文化財指定 2006、広島平和記念公園の名勝指定 2007
- ・ 阪神淡路大震災 1995
 - 文化財の被災と救援体制の不備 → 文化庁による文化財レスキュー事業
 - 文化財保護法改正 1996 により従来の「指定」に加えて「登録」制度導入
 - 神戸ルミナリエ 1995-
- ・ 東日本大震災 2011
 - 被災文化財の救出・救援活動 → 有形文化財の修理・修復・復元
 - 震災遺構・遺跡保存の是非 → たとえば南三陸町旧防災庁舎
 - 無形文化財の被災と復興
 - 高倉浩樹・滝澤克彦編『無形民俗文化財が被災するということ』新泉社 2014

民俗文化財という考え方

- ・ 文化財保護制度
 - 古器旧物保存 1871 → 古社寺保存法 1897 → 国宝保存法 1929 → 文化財保護法 1950
- ・ 制度化の背景に危機意識 → 明治政府による神仏分離と廃藩置県 → 廃仏毀釈と家宝流出
- ・ 文化財保護法による無形文化財、埋蔵文化財、民俗資料（のちに民俗文化財）の新設
 - 従来は宝物（寺宝、社宝、家宝）保存 → 国宝
 - 従来は歴史資料（文字資料）重視
- ・ 政教分離（憲法第 20 条）により祭礼行事保護における神事・仏事の切り離し
- ・ 民俗資料が有形文化財から独立 1954 → 記録保存
- ・ 民俗資料から民俗文化財へ、無形民俗文化財の新設 1975 ← 高度経済成長による生活スタイルの変化
 - 民俗芸能が無形文化財から民俗文化財へ移管
 - 重要無形民俗文化財指定基準 1975. 11. 20 → 風俗慣習、生活文化、芸能の基盤、民俗芸能 → 保護団体の認定 → 固定化が可能、固定化すべきという判断
 - ほかに伝統的建造物群保存地区制度の新設、文化財の保存技術の保護制度の新設
- ・ 登録有形民俗文化財の新設 2004
- ・ お祭り法（地域伝統芸能等を活用した行事の実施による観光及び特定地域商工業の振興に関する法律）1992 → 「民俗芸能」ではなく「地域伝統芸能」 → 神なき祭り、祭りの観光資源化
- ・ ふるさと文化再興事業 2001（文化庁）

「山・鉦・屋台行事」の「ユネスコ無形文化遺産」登録 2016

- ・ 山・鉦・屋台行事 *Yama, Hoko, Yatai, float festivals in Japan* → 33 祭礼
- ・ 無形文化遺産の保護に関する条約 2003（日本締結 2004） → 日立 ^{ふうりゅうもの}風流物 と京都祇園祭の山鉦行事登録 2009
- ・ 山車、出シ
- ・ 観光と町おこし、地方活性化、地方創生

神田祭の現在

- ・ 神田明神（現在は神田神社） → 隔年交互に山王祭（日枝神社）開催
- ・ 神幸祭、出シ、附祭 → 『江戸名所図会』、『東都歳事記』、『神田明神御祭礼附祭番付』（神田神社蔵）、『神田明神祭礼画卷』（同蔵）、『神田明神祭礼画卷』（同蔵）
- ・ 附祭復元プロジェクト（神田神社、文化資源学会、都市と祭礼研究会）2007-
 - 信仰でも観光でもなく、近代社会と現代文化の見直し